

**厚生委員会報告**  
 厚生委員会は、6月29日から7月1日の3日間開催されました。議案は条例改正や補正予算審議、陳情、所管事項調査などについて審議しました。

**条例改正**

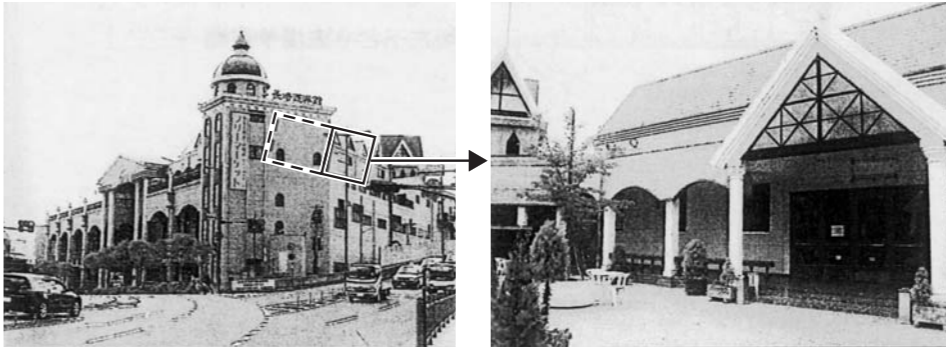
**長崎市子ども広場条例**

1、経緯  
 松山児童センターは、建物が築60年を超えており、危険な状態であることが判明したため、利用者の安全を考慮して、5月3日から休館している。

当該センターは、小学生から高校生までを中心に1日平均64人(平成22年度実績)の利用があり、早期の代替施設確保のための調査を行ったが、児童福祉施設である児童センターとしての要件を満たす施設の確保が困難であったが、緊急避難的に子ども広場事業を実施することとし、公の施設として、条例を制定する。

2、概要  
 ①設置場所  
 長崎西洋館3階(川口町13-1) 北側1室、(面積615㎡ 実利用面積約400㎡)  
 ②事業内容  
 ア、利用対象者

18歳未満の子ども及びその同伴者  
 イ、利用日  
 〈利用時間〉  
 平日：12時～18時  
 土曜日及び春・夏・冬休み：9時～18時  
 〈休業日〉  
 毎週日曜日、祝日、年末年始  
 ウ、供用開始日  
 平成23年8月5日



長崎西洋館全体

「子ども広場」となる3F

**主な補正予算**

ニユー琴海病院設備整備費補助金(3,000万円)

1、目的  
 琴海地区の基幹病院であった旧市立琴海病院は、平成22年4月、医療法人社団大同会に民間移譲され、ニユー琴海病院として透析医療を引き続き行っている。透析は腎不全などの患者の生活の一部となっており、必要不可欠な医療である。

2、事業内容  
 移譲の際に無償譲渡した透析医療機器は、耐用年数が概ね5年～7年ですが、購入から約10年経過している。  
 耐用年数を考えた場合、計画的に



ニユー琴海病院

更新すべきであったが、旧市立琴海病院の経営状況が急激に悪化したため大幅な更新ができていなかった。

**子ども広場事業費 (1,210万円)**

**1、概要**

子ども広場の設置にあたり、施設を賃借し、安全に利用するための改修や備品の移転等、開設に向けた準備を行うとともに、安全管理を行う職員を配置し、子ども広場の管理運営を行う。

**2、補正額内訳**

①施設賃借料(577万5千円)  
 長崎西洋館(川口町13-1) 3階北側1室の借上料及び敷金・礼金。  
 ※面積：615㎡(実利用面積約400㎡)  
 ②開設準備費(144万5千円)  
 子ども広場内の使用部分と非使用部分の間に間仕切りを設置し、照度を確保するため照明を追加する等、安全に利用するために必要な改修を行うとともに、大型備品・児童図書等の物品の搬入及び清掃等、開設に必要な準備を行う。  
 ③運営費(487万9千円)  
 子ども広場に配置する職員の人件費及びその他運営にかかる経費等(報酬、光熱水費、消耗品等)。

**妊婦にやさしい環境づくり事業費(130万円)**

**1、概要**

妊娠初期は、心身の変化により体調不良を起こしやすく、また、胎児の成長段階として大切な時期であるが、外見上妊婦であることを周囲には気づかれない場合が多い。厚生労働省は「健やか親子21」において、マタニティマークのデザインが決定され、妊婦であることが理解されるようマークの携帯を促し、広く市民に周知することが求められている。

妊婦に対し、マタニティマーク入りのキーホルダー等を配布する。



マタニティキーホルダー

ご相談はお気軽に!



k.itsuwa

長崎市の部1丁目1444-13  
 自 宅 電話(844)95999  
 生活相談室 電話(861)19885

**やさしい街づくり! 元気な長崎!**

長崎市議会議員



**いづわ 清隆 だより 第37号**

平成23年8月 発行責任者：五輪 清隆 編集責任者：中山 好文 長崎市水の浦1の1 TEL861-6032



ペーロン選手権(前年度)

暑さ厳しい候、皆さまにおかれましては益々ご健勝にて、ご活躍のこととお慶び申し上げます。

**改選後、初定例会議開催**

去る、6月20日から定例会議が開催されましたが、4月の選挙で議員定数が51名から40名に見直

**東日本大震災の早期復興を願います**

3月11日に東北地方を襲ったM9.0の地震と津波の発生から5ヶ月近くとなりましたが、行方不明、お亡くなりになった多くの方に心よりお悔やみ申し上げますと共に、被災された多くの方々に深甚のお見舞い申し上げます。

今回の東日本大震災では、緊急時に住民の安全を確保する行政の機能が失われるという事態が生じ、帰宅困難という状況も大規模に発生しました。そのような状況を踏まえて、職員体制の確保を縦割りから横割りなどに切り替えることなど、万全ではないケースを含めて想定して検証しなければなりません。長崎市も地域防災計画が策定されていますが、改めて計画とマニュアルに関して避難誘導や経路・避難所の受け入れ体制などを検証しなければなりません。

その為には、行政だけの力で解決することが出来ませんので、地域と一体となった連携で諸課題の解消に努めていかなければなりませんので皆様方のご協力をお願い致します。

**熱中症に注意して下さい**

今年も暑い日々が続きましたが、水分補給などを行い熱中症に注意して楽しい夏を過ごして頂きたいと思っております。

私も3期目の市議会議員として、市民の皆さんが「安全で安心して生活できる環境作り」に向けて諸活動を積極的に行っていく決意です。皆様方にはさらなるご指導・ご支援をよろしくお願い致します。

長崎市議会議員 五輪 清隆

# 一般会計補正予算

# 約10億6,400万円、 33議案を可決

## 6月議会

長崎市議会平成23年6月定例会は、6月20日(月)に開会し、7月7日(木)に最終本会議が開催され、一般会計補正予算案(総額約10億6400万円)と33議案が可決・同意し閉会しました。

議員提案の議案では、避難施設における防災機能の整備推進を求める意見書など3件を全会一致で可決しました。

また、平成23年度の3特別委員会(防災対策特別委員会、市庁舎建設特別委員会、次世代エネルギー活用特別委員会)の設置を確認後、委員および正・副委員長を決定しました。私は、次世代エネルギー活用特別委員会に所属することになりました。

このほか、7月19日付けで任期満了となる智多正信副市長、椎木恭二副市長の後任に市総務部長の三藤義文氏と総務省公務員課高齢対策室長の古賀友一郎氏を充てる人事案が同意されました。

### 主な補正予算の内容

◆商工業振興対策資金預託金  
…9,720万円

東日本大震災の影響により業況が悪化している中小企業者の早急な資金繰り・経営の安定化を目的として、長崎市中小企業災害復旧等支援資金に「東日本大震災影響枠」を創設する。

◆融資要件…  
国の東日本大震災復興緊急保証制度の認定を受けていること  
◆融資枠…  
1億9,440万円

◆事業期間…  
平成24年3月31日まで

◆【単独】公園施設整備事業費  
(野母崎総合運動公園)  
…2,800万円

「のもさき水仙まつり」の主会場である野母崎総合運動公園において、水仙の花付きが年々悪くなっているため、水仙園の再整備を行う。

◆事業内容…  
花壇整備(A113,000・0・0㎡)、水仙植栽  
◆事業期間…  
平成23年度～24年度

◆市庁舎建替検討費  
…120万円

市庁舎の建替については、本年2月に現在地から公会堂を含めたエリアにおいて検討する旨を公表していることから、市民懇話会を設置し、市庁舎の建替場所や必要な機能について検討する。

◆市民懇話会 4～5回開催  
◆市民アンケートの実施



市庁舎本館

◆地域防災マップ作成費  
…215万円

地域住民が地域の危険箇所や避難場所を確認し、災害時の避難経路などを話し合いながら地域防災マップを作成することにより、自助、共助意識



老朽化した「動く歩道」

識を高めるとともに、防災意識の向上や自主防災組織の活性化など、地域防災力の向上を図る。

※(観光施設事業特別会計)  
◆【単独】グラバー園施設整備事業費…2,000万円  
昭和49年に設置したグラバー園「動く歩道」が老朽化していることから全面改修し、利用者の安全性の確保と維持管理費の軽減を図る。

◆事業期間…  
平成23年度～24年度(予定)  
平成23年度…  
測量・地質調査、基本・実施設計

◆矢上大橋有料道路無料化社会実験費…3,000万円  
矢上大橋有料道路において、生活道路としての利便性を高めるとともに、国道251号を利用する歩行者等の安全性を向上させるため、長崎県の協力を得て、朝の通勤通学時間帯において無料化社会実験を実施し、効果の検証を行う。

◆時間帯…午前6時～9時  
◆事業期間…平成23年8月～平成24年3月(予定)



矢上大橋料金徴収ゲート

◆長崎ランタンフェスティバル事業共催費負担金  
…930万円  
新地橋広場及び銅座川取付歩道の完成に伴い、新たにラン



市公会堂

◆公会堂等文化施設あり方検討委員会費…60万4千円  
耐震性が低いことが判明した公会堂をはじめとする市内の文化施設について、市庁舎建替えに向けた検討との整合を図りながら、市民ニーズの高い音楽・演劇等専用の中・小ホールや練習場など必要な機能等に係る市民委員会を立ち上げ検討する。

## 主な条例改正

◆長崎市税条例の一部を改正する条例

1. 軽自動車税を減免することができ、軽自動車等に災害により著しい被害を受けた者が所有し、又は使用するもの等を追加したい。
2. 地方税法の一部が改正され、東日本大震災に係る住宅借入金等特別税額控除の適用期限の特例が設けられたことに伴い、本市においても同様の措置を講じたい。
3. その他所要の整備をしたい。

◆長崎市営住宅条例の一部を改正する条例

1. 子どもが安心して住むことができる公営住宅を供給するため、公営住宅の一部を子育てに適した公営住宅として指定し、期間を定めて子育てをしている者を入居させることとした。
2. 公営住宅を明け渡そうとする者を優先的に選考して入居させることとした。
3. 公営住宅の入居者の生活状況を勘案し、高額所得者に対する明渡請求に係る規定を見直したい。
3. その他所要の整備をしたい。

## 九州各市監査委員定期総会に出席



開会のことばを述べる

7月14日(木)に長崎市において、九州各市より監査委員および監査事務局の皆さん(300人)が参加する中、平成23年度「九州各市監査委員会定期総会」が開催され長崎市の議会選出の監査委員として出席しました。

総会では、私は開催市の監査委員として他市の関係者の皆さんへ歓迎の「開会のことば」が担当となり誠心誠意の挨拶をさせていただきます。

総会終了後は、講演会として①「地方行政をめぐる最近の動向」、②「幕末の長崎で活躍した若者たち」、③「自治体の公監査構造」と今目的課題」と題した講演がありました。

定期総会は毎年各県の持ち回りで来年は大分市で開催することになりました。

監査委員になって約2カ月ですが、市民の皆さんの税金が適正に活用されているのか、監査していきたいと思えます。